由利本荘市立由利中学校 校報　　「チーム由利中　心ひとつに」

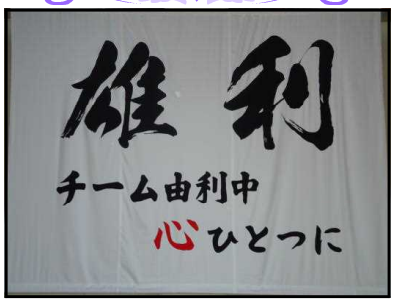
根堀台だより

平成29年3月21日

第103号

校 訓「 進 歩（文 ）」「 健 康（武 ）」「 協 力（道 ）」

５０周年を誇りに
平成２８年度修了式



今日は３月２１日（火）、「平成２８年度修了式」の日を迎えました。今日は今年度最後の登校日となりますが、１年生は２００日、２年生は２０１日登校したことになります。「修了式」は該当学年の学業が修了したことを祝い、記念し、証明するために「修了証書」を交付するもので、「通知票」の中には職印が押された「修了証書」が記載されていますので、是非ご覧下さい。

今年は「由利中学校創立５０周年並びに由利中同窓会設立５０年記念事業」と文部科学省指定「英語教育強化地域拠点事業」公開研究会という大きな事業に取り組んだ１年でした。３年生は５０周年事業の中心となって取り組み、２年生は文科省指定公開研究会で授業提示を行いました。１年生は先輩の頑張る姿を通して、沢山のことを学びました。特に、各記念事業の成功は、生徒や学校、同窓会、東京支部、保護者、地域の方々が、大きな「チーム由利中」として「心ひとつに」頑張った成果と自負しています。

次年度が文部科学省指定「英語教育強化地域拠点事業」最終年となり、秋には「公開研究会」も予定されていますので、また大きな宿題のある１年となります。いつ、どんな場面でも、由利の子どもたちのよさをさらに発揮できるものと信じています。何よりも常に「なりたい自分」を目指し、「夢あきらめない」で前へ進んでくれることを祈っています。

保護者の皆様におかれましては、この１年間本校の教育活動に対し物心両面で支えて頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。新年度、新たな「チーム由利中」が力強く一歩を踏み出すことを心から願っています。本年１年間本当にありがとうございました。

平成２８年度修了式式辞から

ここ根堀台は大変風の強い所です。根堀台の松の木や桜の木には、日本海から吹き付ける西風や東から吹く出し風、鳥海山から吹き下ろす南風、冷たく厳しい北風など、色々な方角から風が吹いてきます。
でも自分から見れば風は二つに分けられます。よくゴルフで使われている「アゲインスト」、と「フォロー」、これは「向かい風」と「追い風」を意味しますが、「和製英語」で、本当の英語ではありません。
英語では head（頭）から受ける wind（風）、ということで headwind が「向かい風」で、tail（しっぽ）から受ける wind（風）、ということで tailwind が「追い風」になります。

ここでクイズです。皆さんは鳥や飛行機が take off 、つまり離陸する時は、「向かい風」と「追い風」のどちらの風がいいと思いますか？　「向かい風」の人は？　じゃあ「追い風」の人は？
答えは離陸も着陸も「向かい風」がベストです。「追い風のときには操縦も楽だ」というパイロットもいますが、これはあくまで、上空を航行しているときのことです。離陸時は「向かい風」だと「揚力」が最大になり、滑走路が短くてすみます。着陸時は「向かい風」だとスピードが速く落ちて、やはり滑走路も短くてすむのです。

ヨットは帆を立てそれに風を受けて進みます。風を動力とするヨットではどうでしょうか？「追い風」だとヨットは前へ進みますね。もし、「向かい風」だったらヨットはどうなりますか？　（後ろへ進む）
じゃあ、進みたい方から「向かい風」が吹くとヨットはいつまでたっても目的地に着くことができないことになります。実はヨットは「向かい風」でも前に進むことができるんです。すごいですね。帆を斜めに傾けて膨らませると、「向かい風」でも膨らんだ方向に引っ張る「揚力」が生じるので、ヨットは斜め前に進みます。それを左右に繰り返すと、ジグザグしながら前に進んでいくのです。場合によっては「追い風」の時よりスピードが出るそうです。

今日の「修了式」は一年生は中堅学年の二年生に、二年生は最高学年の三年生へと飛び立つための式です。皆さんはこれから新たな「なりたい自分」という夢に向かって飛び立たなければなりません。でも、夢の形はぼんやりしていたり、はっきりしていたり、人によって様々です。もしかすれば夢を見失っている人がいるかもしれません。私たちは「追い風」が吹いている時はその存在にすら気づかないものです。しかし、風は「向かい風」「逆風」となって初めてその強さを思い知ります。皆さんは、「向かい風」でも前へ進むヨットのように、しっかりとした帆をもってほしいものです。風に負けない、風を乗り超えるだけのエネルギーを秘めた「夢あきらめない」帆をもつことです。

鳥は「向かい風」に乗って飛び立ちます。「追い風」では飛べないのです。「向かい風」が強ければ強いほど、鳥は高く飛び上がることができます。確かに「向かい風」「逆風」は辛いものです。強くて息ができないこともあります。しかし、私たちは「向かい風」を迎えないと飛び立つことはできないのです。

皆さんは是非、この春休みは「なりたい自分」をしっかりもって、その実現のために必要なことを毎日継続して下さい。例えば、毎日二時間以上学習すること、毎日本を読むこと、毎日家でトレーニングすること、毎日家の手伝いをすること、自分のためや家族のためになることを何でもいいので毎日続けることです。以前「続けることが、その人の個性や能力になる」という話をしました。「継続すること」は結構苦しく、難しいものです。だから、あえて自分から「向かい風」を作り、「向かい風」に向かっていくことが成長につながるのです。
ここ根堀台の学舎で、仲間と共に切磋琢磨し、培ってきたことを信じ、夢に向かって今、しっかりと「夢あきらめない」で、飛び立って下さい。

間もなく桜の季節となります。強い「向かい風」に負けなかった蕾が美しい華を咲かせます。六十三の蕾が満開の美しい桜となって、新年度のスタートを切りましょう。
それでは４月５日の始業式に、全員元気にこの体育館に集まりましょう。元気で頑張って下さい。

平成２９年３月２１日　　由利本荘市立由利中学校　　校長　須田　晃司